

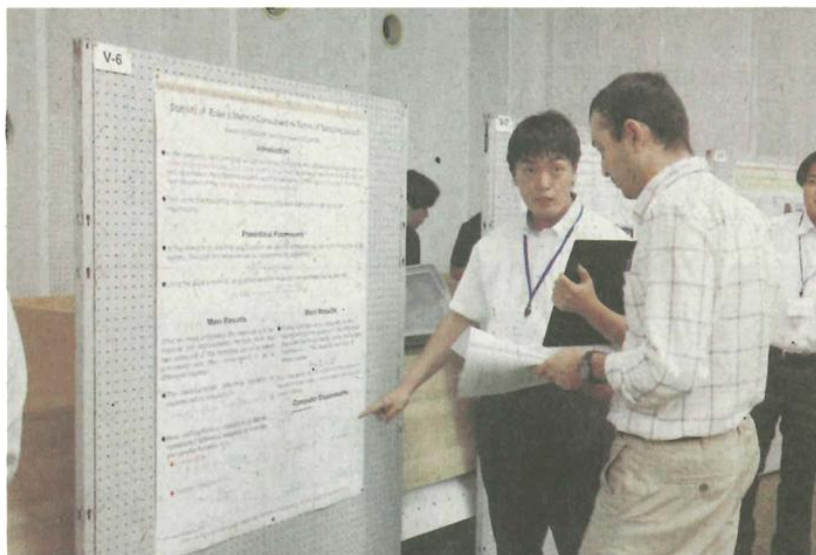
デーリー東北

2025年(令和7年)8月28日(火曜日) (10)

中国とカザフの 大学関係者と交流

ハ工大で国際ワークショップ

八戸工業大(船崎健一学長)で21〜23日、第2回国際ワークショップが開かれた。学術交流協定を結ぶ海外の大学関係者が八戸市や同大を訪れ、研究成果の報告や同



ポスター発表を通して交流する参加者

大大学院生によるポスター発表などを通して交流し、友好を深めた。ワークショップは昨年の中国での開催に続き2回目。同大と協定を結ぶ新疆大学(中国)、国立ユーラシア大学(カザフスタン)の教授や関係者計15人が来八した。期間中、各自の研究成果の発表や、学内外の見学を通じ、それぞれの研究や大学の活動などについて理解を深めた。

22日は、八戸工業大大学院の学生9人が、それぞれの研究について英語でポスターにまとめて発表。各大学の関係者が学生に質問したり、写真を撮ったりして交流を深めていた。

同大大学院工学研究科社会基盤工学専攻2年の古里春花さん(24)は「海外の方と自分の研究について議論や交流する機会は多くない。緊張したが、貴重な機会で楽しかった」と充実した表情を見せた。

(向屋敷萌)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。